

資 料

地域リハビリテーション資源調査結果

1 目的

高齢や障害のある住民が住み慣れた身近な市町村で、日常生活動作の仕方や趣味活動、社会活動の方法を相談でき、適切な自立支援（指導）が受けられ、いつまでも寝たきりや要介護状態にならず、いきいきとした生活が送れる地域リハビリテーションを推進するため、その支援体制を整備し、連携指針の策定に向けての参考資料とします。

2 調査対象及び調査方法

下記対象に対する郵送によるアンケート調査を行う。

対象機関	対象数
病院	83
リハビリテーション科を標榜する診療所	118
療養型介護医療施設	59
介護老人保健施設	34
通所リハビリテーション	69
介護老人福祉施設	45
通所介護	130
訪問看護	369
訪問リハビリテーション	159
在宅介護支援センター	94
市町村	41
合計	1,201

3 調査時期

平成14年11月～12月

4 主な調査内容

- (1) 各機関でのリハビリテーションサービスの実施状況
- (2) リハビリテーションに関する地域の社会資源状況
- (3) 地域リハビリテーションの現状と課題
- (4) 各機関の連携状況
- (5) その他

5 調査結果

(1) 回収状況

アンケート回収状況では、全体の43.8%の回答を得ました。

対象機関	対象数	回収数	回収率
病院	83	48	57.8%
リハビリテーション科を標榜する診療所	118	27	22.9%
療養型介護医療施設	59	23	39.0%
介護老人保健施設	34	29	85.3%
通所リハビリテーション	69	26	37.7%
介護老人福祉施設	45	37	82.2%
通所介護	130	79	60.8%
訪問看護	369	118	32.0%
訪問リハビリテーション	159	30	18.9%
在宅介護支援センター	94	68	72.3%
市町村	41	41	100.0%
合計	1,201	526	43.8%

*注：対象機関について、

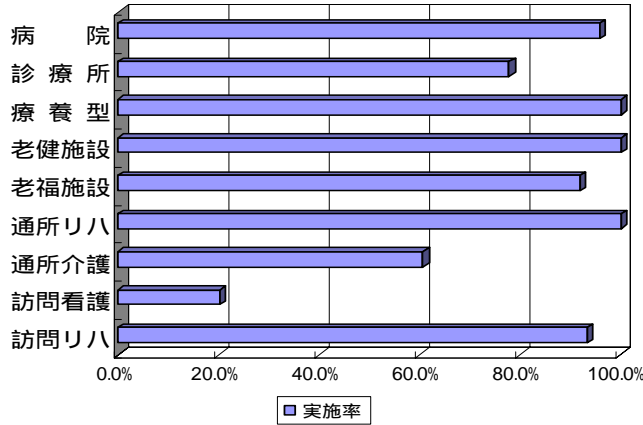
療養型医療施設は、療養型、
介護老人保健施設は、老健施設、
通所リハビリテーションは、通所リハ、
介護老人福祉施設は、老福施設、
訪問リハビリテーションは、訪問リハ、
在宅介護支援センターは、在介支援センター、

に略し、標記します。

(2) リハビリテーション医療又は機能訓練の実施状況

訪問看護を除くほとんどの施設で、リハビリテーション医療又は機能訓練が実施されていました。しかし、急性期終了後の回復期リハ病棟を開設している施設はまだ少なく、2施設(4.2%)となっています。今後開設を検討していると答えたところは10施設でした。

図1 機関別リハビリテーション実施割合



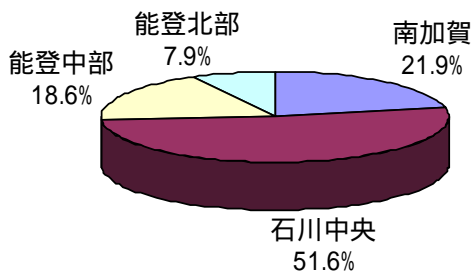
単位:施設数、%

区 分	回答施設数	医 療		介護保険	
		実施施設数	実施率	実施施設数	実施率
病 院	48	46	95.8%		
うち回復期リハ病棟		2	4.2%		
診 療 所	27	21	77.8%		
療 養 型	23			23	100.0%
老 健 施 設	29			29	100.0%
老 福 施 設	37			34	91.9%
通 所 リ ハ	26			26	100.0%
通 所 介 護	79			48	60.8%
訪 問 看 護	118			24	20.3%
訪 問 リ ハ	30			28	93.3%
合 計	417	67		212	

(3) 圏域別リハビリテーション医療又は機能訓練の実施状況

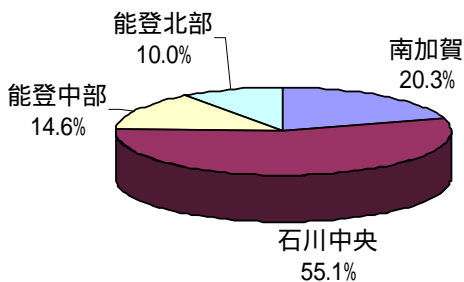
圏域別のリハビリテーション医療及び機能訓練の実施状況では、南加賀地区 61 施設 21.9%、石川中央地区 144 施設 51.6%、能登中部地区 52 施設 18.6%、能登北部地区 22 施設 7.9%でした。

図2 圏域別リハビリテーション医療等実施割合



<参考>

図3 圏域別40歳以上人口割合



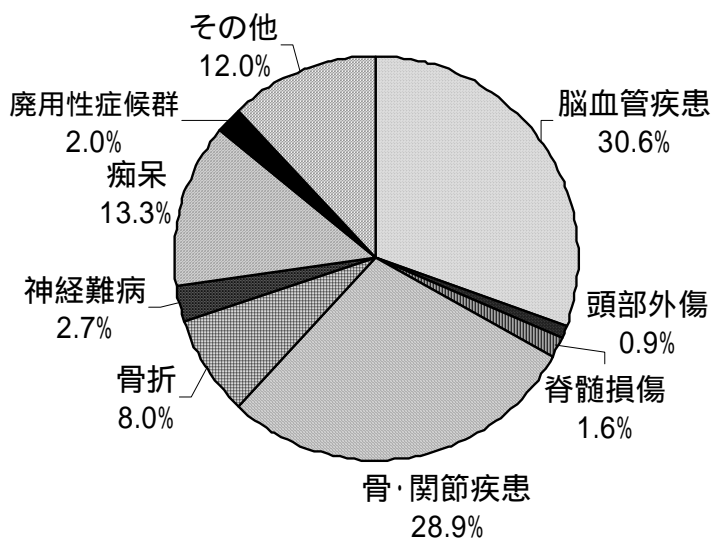
単位:施設数、%

区 分	南加賀	石川中央		能登中部	能登北部	合 計
		うち金沢市				
病 院	6	33	27	4	3	46
	13.1%	71.7%	58.7%	8.7%	6.5%	100.0%
うち回復期リハ病棟	1	1	1	0	0	2
診 療 所	3	16	13	2	0	21
	14.3%	76.2%	61.9%	9.5%	0.0%	100.0%
療 養 型	5	11	5	6	1	23
	21.7%	47.8%	21.7%	26.1%	4.4%	100.0%
老 健 施 設	11	10	6	6	2	29
	37.9%	34.5%	20.7%	20.7%	6.9%	100.0%
通 所 リ ハ	7	11	2	7	1	26
	26.9%	42.3%	7.7%	26.9%	3.9%	100.0%
訪 問 リ ハ	6	14	11	4	4	28
	21.4%	50.0%	39.3%	14.3%	14.3%	100.0%
老 福 施 設	6	16	8	7	5	34
	17.6%	47.1%	23.5%	20.6%	14.7%	100.0%
通 所 介 護	12	21	14	11	4	48
	25.0%	43.8%	29.2%	22.9%	8.3%	100.0%
訪 問 看 護	5	12	7	5	2	24
	20.8%	50.0%	29.2%	20.8%	8.4%	100.0%
合 計	61	144	93	52	22	279
	21.9%	51.6%	33.3%	18.6%	7.9%	100.0%

(4) 疾患別リハビリテーション医療及び機能訓練実施状況(平成14年11月30日現在)

疾患別リハビリテーション医療及び機能訓練対象者における主な原疾患では、各機関とも脳血管疾患者が最も多く、医療機関の外来で、腰痛などの骨・関節疾患が、介護老人保健施設では痴呆が多い傾向が見られました。

図4 疾患別割合



単位:実人数、%

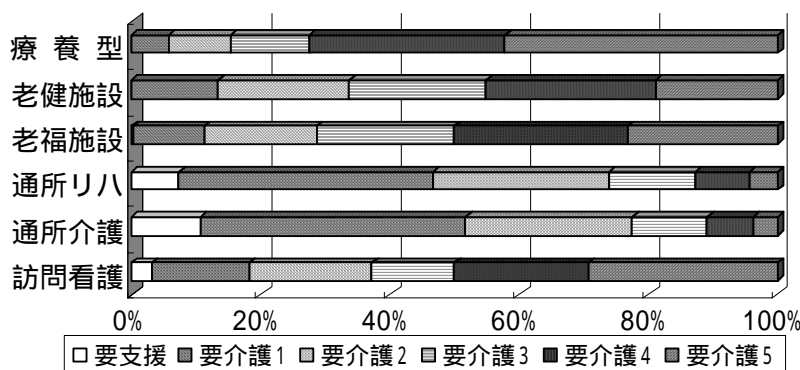
区分	脳血管疾患	頭部外傷	脊髄損傷	骨・関節疾患	骨折	神経難病	痴呆	廃用性症候群	その他	合計	
病院	入院	1,261	41	66	800	473	135	121	153	701	3,751
	通院	903	45	66	2,001	428	88	57	16	516	4,120
診療所	入院	22	2	6	136	41	2	8	5	8	230
	通院	59	14	11	1,249	124	11	1	2	89	1,560
療養型	347	7	6	45	23	4	59	36	25	552	
老健施設	788	9	18	127	111	49	894	61	173	2,230	
老福施設	516	10	18	136	71	39	458	15	196	1,459	
通所リハ	485	9	17	250	75	24	231	23	87	1,201	
通所介護	728	21	12	336	78	50	519	35	300	2,079	
訪問看護	266	4	39	67	17	56	22	19	37	527	
訪問リハ	108	1	27	38	2	29	8	2	19	234	
合計	5,483	163	286	5,185	1,443	487	2,378	367	2,151	17,943	
	30.6%	0.9%	1.6%	28.9%	8.0%	2.7%	13.3%	2.0%	12.0%	100.0%	

(5) 要介護度別リハビリテーション医療及び機能訓練実施状況

(平成14年11月30日現在)

要介護度別リハビリテーション医療及び機能訓練実施状況においては、通所リハ、介護では要介護1、2が、施設入所及び訪問看護では要介護4、5の割合が多い状況でした。

図5 施設別要介護度別割合



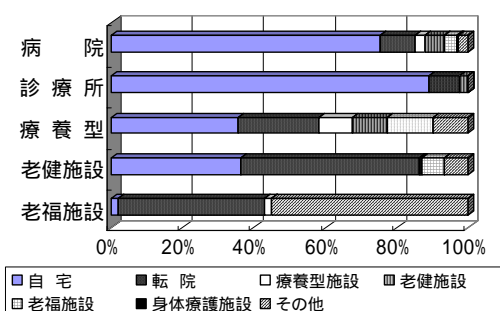
単位:実人数、%

区分	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
療養型	0 0.0%	29 5.8%	48 9.6%	61 12.2%	151 30.2%	211 42.2%	500 100.0%
老健施設	0 0.0%	288 13.4%	436 20.3%	454 21.2%	565 26.3%	402 18.8%	2,145 100.0%
老福施設	3 0.2%	154 11.0%	245 17.4%	300 21.4%	378 26.9%	324 23.1%	1,404 100.0%
通所リハ	90 7.4%	478 39.2%	334 27.4%	162 13.3%	102 8.4%	53 4.3%	1,219 100.0%
通所介護	249 10.7%	955 41.1%	599 25.7%	272 11.7%	164 7.1%	87 3.7%	2,326 100.0%
訪問看護	17 3.2%	80 15.0%	101 19.0%	68 12.8%	110 20.7%	156 29.3%	532 100.0%
合計	359 4.4%	1,984 24.4%	1,763 21.7%	1,317 16.2%	1,470 18.1%	1,233 15.2%	8,126 100.0%

(6) リハビリテーション受療患者の退院先

リハビリテーション受療者の退院先としては、病院では75.6%、診療所では88.9%が自宅でした。

図6 各機関別退院先割合



単位:人数、%

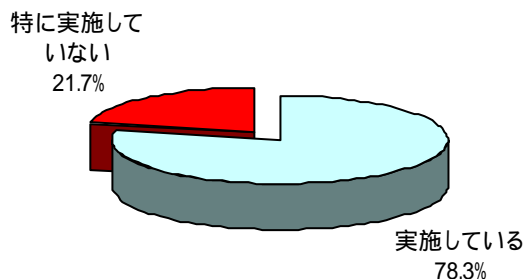
退院先	自宅	転院	療養型施設	老健施設	老福施設	身体療護施設	その他	合計
病院	563 75.6%	72 9.7%	19 2.5%	42 5.6%	25 3.4%	5 0.7%	19 2.5%	745 100.0%
診療所	40 88.9%	4 8.9%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	45 100.0%
療養型	11 35.5%	7 22.5%	3 9.7%	3 9.7%	4 12.9%	0 0.0%	3 9.7%	31 100.0%
老健施設	77 36.5%	105 49.7%	1 0.5%	1 0.5%	13 6.2%	0 0.0%	14 6.6%	211 100.0%
老福施設	1 2.0%	20 40.9%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	27 55.1%	49 100.0%
合計	692 64.0%	208 19.2%	24 2.2%	47 4.4%	42 3.9%	5 0.5%	63 5.8%	1,081 100.0%

(7) 退院時の連絡等の連携状況について

退院時の連絡方法では、回答のあった267施設のうち78.3%で何らかの連携がとられています。

そのうち連携手段としては、診療情報提供書などによる連絡が83.3%、次いで電話による連絡が60.3%、退院時のカンファレンスが18.7%でした。

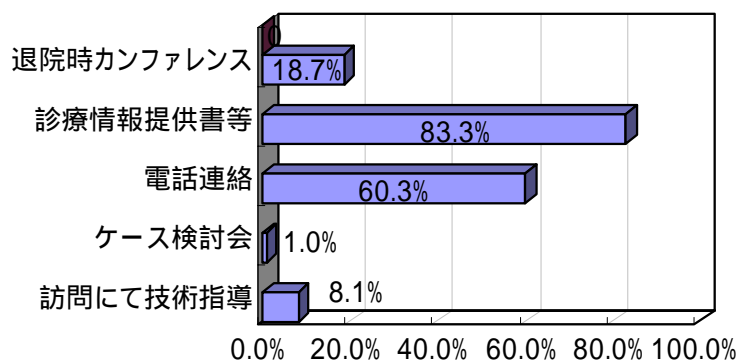
図7 退院時連携割合



単位:施設数、%

区分	病院	診療所	療養型	老健施設	老福施設	通所リハ	通所介護	合計
実施している	43 93.5%	10 37.0%	21 91.3%	28 96.6%	21 56.8%	18 69.2%	68 86.1%	209 78.3%
特に実施していない	3 6.5%	17 63.0%	2 8.7%	1 3.4%	16 43.2%	8 30.8%	11 13.9%	58 21.7%
合計	46 100.0%	27 100.0%	23 100.0%	29 100.0%	37 100.0%	26 100.0%	79 100.0%	267 100.0%

図8 連携手段別割合



単位:施設数、%

区分	病院	診療所	療養型	老健施設	老福施設	通所リハ	通所介護	合計
退院時カンファレンス	8 18.6%	1 10.0%	2 9.5%	4 14.3%	4 19.0%	2 11.1%	18 26.5%	39 18.7%
診療情報提供書等	43 100.0%	10 100.0%	21 100.0%	27 96.4%	20 95.2%	18 100.0%	35 51.5%	174 83.3%
電話連絡	13 30.2%	3 30.0%	7 33.3%	16 57.1%	13 61.9%	7 38.9%	67 98.5%	126 60.3%
ケース検討会	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	2 1.0%
訪問にて技術指導	4 9.3%	0 0.0%	2 9.5%	7 25.0%	1 4.8%	3 16.7%	0 0.0%	17 8.1%
連携実施施設数	43	10	21	28	21	18	68	209

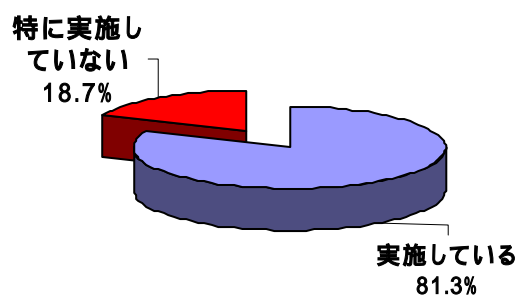
*重複回答有り

(8) ケース支援方法に関する連携

在宅でのサービス提供機関である訪問看護、訪問リハ、在宅介護支援センター、市町村における連携状況では、81.3%が何らかの連携がとられています。

そのうち連携手段としては、電話による連絡が88.0%、ケース検討会が59.8%、書面にて連絡が51.7%でした。

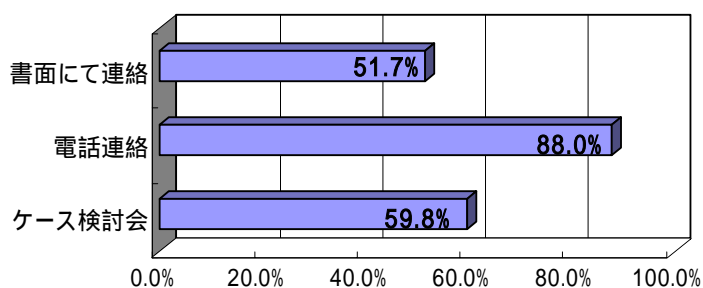
図9 ケース支援連携割合



単位：施設数、%

区 分	訪問看護	訪問リハ	在介支援	市町村	合計
実施している	79 66.9%	25 83.3%	66 97.1%	39 95.1%	209 81.3%
特に実施していない	39 33.1%	5 16.7%	2 2.9%	2 4.9%	48 18.7%
合 計	118 100.0%	30 100.0%	68 100.0%	41 100.0%	257 100.0%

図10 連絡手段別割合



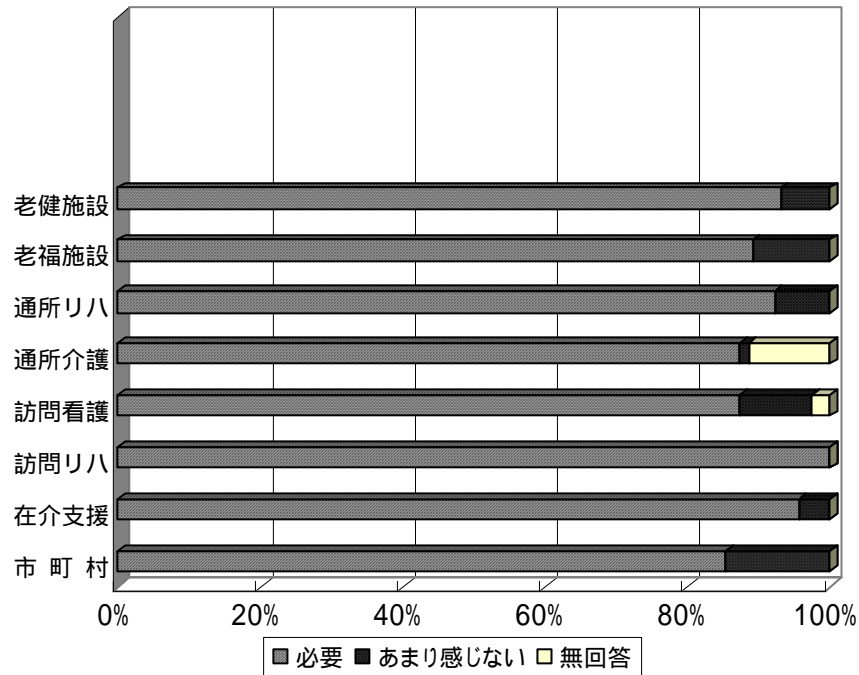
単位：施設数、%

区 分	訪問看護	訪問リハ	在介支援	市町村	合計
随時書面にて連絡	63 79.7%	8 32.0%	26 39.4%	11 28.2%	108 51.7%
電話連絡	76 96.2%	16 64.0%	61 92.4%	31 79.5%	184 88.0%
ケース検討会	38 48.1%	19 76.0%	43 65.2%	25 64.1%	125 59.8%
連携実施施設数	79	25	66	39	209

*重複回答有り

(9) 連携システムについて

ケースに関するリハビリテーション計画や経過などを連絡し合う連携システムについて、約9割がその必要性を認めていました。



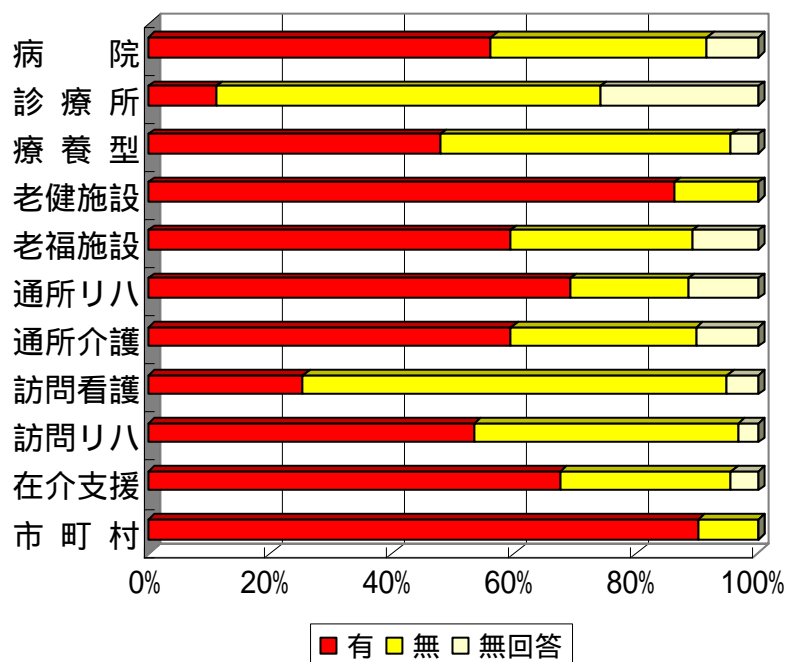
単位：施設数、%

区分	病院	診療所	療養型	老健施設	老福施設	通所リハ	通所介護	訪問看護	訪問リハ	在介支援	市町村	合計
必要	45 93.7%	18 66.7%	20 87.0%	27 93.1%	33 89.2%	24 92.3%	69 87.3%	103 87.3%	30 100.0%	65 95.6%	35 85.4%	469 89.2%
あまり感じない	2 4.2%	2 7.4%	3 13.0%	2 6.9%	4 10.8%	2 7.7%	1 1.3%	12 10.2%	0 0.0%	3 4.4%	6 14.6%	37 7.0%
無回答	1 2.1%	7 25.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 11.4%	3 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 3.8%
合計	48 100.0%	27 100.0%	23 100.0%	29 100.0%	37 100.0%	26 100.0%	79 100.0%	118 100.0%	30 100.0%	68 100.0%	41 100.0%	526 100.0%

(10) 各関係機関の相談窓口の設置状況

約5割の機関で何らかの相談・連絡窓口が設置してあり、市町村では37市町村90.2%、老健施設では25施設86.2%でした。

図12 各機関別相談窓口設置割合



単位:施設数、%

区分	病院	診療所	療養型	老健施設	老福施設	通所り八	通所介護	訪問看護	訪問り八	在介支援	市町村	合計
有	27 56.3%	3 11.1%	11 47.8%	25 86.2%	22 59.5%	18 69.2%	47 59.5%	30 25.4%	16 53.4%	46 67.7%	37 90.2%	282 53.6%
無	17 35.4%	17 63.0%	11 47.8%	4 13.8%	11 29.7%	5 19.2%	24 30.4%	82 69.5%	13 43.3%	19 27.9%	4 9.8%	207 39.4%
無回答	4 8.3%	7 25.9%	1 4.4%	0 0.0%	4 10.8%	3 11.6%	8 10.1%	6 5.1%	1 3.3%	3 4.4%	0 0.0%	37 7.0%
合計	48 100.0%	27 100.0%	23 100.0%	29 100.0%	37 100.0%	26 100.0%	79 100.0%	118 100.0%	30 100.0%	68 100.0%	41 100.0%	526 100.0%

(11) 地域ケア会議開催状況

要介護となるおそれのある高齢者を対象に、効果的な予防サービスや地域ケアの総合調整を行う地域ケア会議については、27市町村(65.9%)で開催されていました。

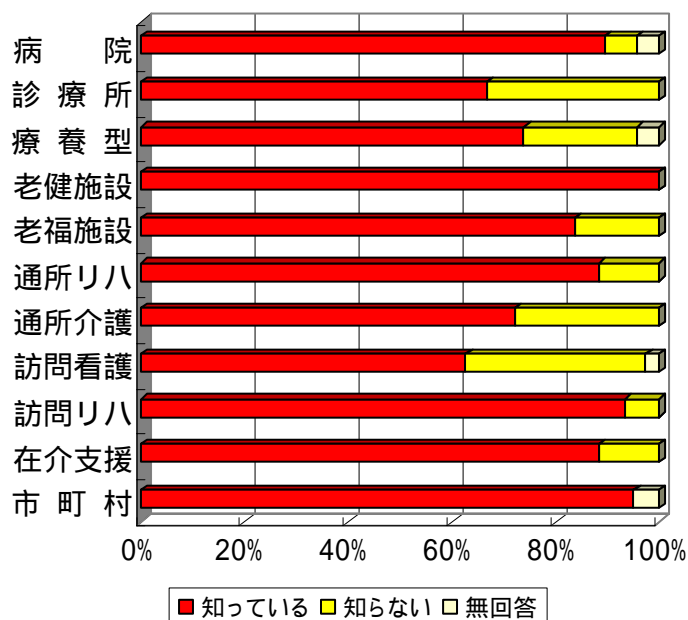
区 分	担 当 課	開催の有無
県 計		27
南加賀	計	5
	小松市 ふれあい福祉課(小松社協で実施)、介護保険総室	
	加賀市 保健センター	
	山中町 住民福祉課	
	根上町 福祉保険課	
	寺井町 介護保険対策室、寺井町在介支援センター	
	辰口町 健康センター課	
	川北町 福祉課	
石川中央	計	9
	松任市 介護保険課	
	美川町	
	鶴来町 長寿福祉課	
	野々市町 長寿保険課、在介支援センター	
	河内村 住民福祉課	
	吉野谷村 環境福祉課	
	鳥越村 介護保険課(白山ろく広域連合)	
	尾口村 住民福祉課	
	白峰村 住民福祉課	
	津幡町 保険年金課内基幹型支援センター	
	高松町 町民課	
	七塚町 健康福祉課	
	宇ノ気町 福祉保険課内の直営在宅介護支援センターが担当	
	内灘町 保険年金課 介護保険室	
能登中部	計	7
	七尾市	
	羽咋市 健康福祉課	
	田鶴浜町 住民福祉課	
	鳥屋町 住民福祉課	
	中島町 健康福祉課	
	鹿島町 住民福祉課	
	能登島町	
	鹿西町 保健衛生課	
	富来町 保健福祉課	
	志雄町 保健福祉課	
	志賀町 保健福祉課内の基幹型在介支援センター	
	押水町	
能登北部	計	5
	輪島市 社会福祉協議会	
	珠洲市 長寿社会室	
	穴水町 在宅介護支援センター	
	門前町 長寿支援課	
	能都町 介護保険推進室	
	柳田村 住民福祉課	
	内浦町 住民福祉課	
金 沢 市	基幹型お年寄り介護相談センター 3箇所	

(平成14年11月末現在)

(12) 地域リハビリテーションという言葉の周知状況

「地域リハビリテーション」という言葉の周知状況については、約8割の機関が知っている状況でした。

図13 地域リハという言葉の周知割合



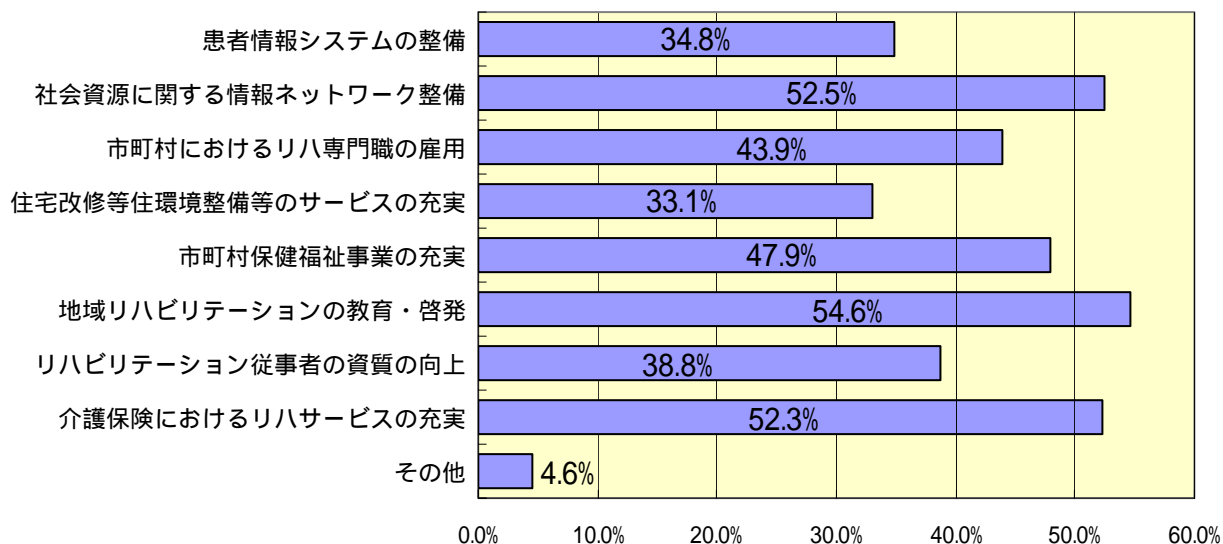
単位：施設数、%

区分	病院	診療所	療養型	老健施設	老福施設	通所リハ	通所介護	訪問看護	訪問リハ	在介支援	市町村	合計
知っている	43 89.6%	18 66.7%	17 73.9%	29 100.0%	31 83.8%	23 88.5%	57 72.2%	74 62.7%	28 93.3%	60 88.2%	39 95.1%	419 79.7%
知らない	3 6.2%	9 33.3%	5 21.7%	0 0.0%	6 16.2%	3 11.5%	22 27.8%	41 34.7%	2 6.7%	8 11.8%	0 0.0%	99 18.8%
無回答	2 4.2%	0 0.0%	1 4.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.9%	8 1.5%
合計	48 100.0%	27 100.0%	23 100.0%	29 100.0%	37 100.0%	26 100.0%	79 100.0%	118 100.0%	30 100.0%	68 100.0%	41 100.0%	526 100.0%

(13) 地域リハビリテーションの充実に必要なこと

地域リハビリテーションの充実に、地域リハビリテーションにおける教育・啓発が最も多く54.6%、次いで情報ネットワークの整備の52.5%、介護保険におけるリハビリテーションサービスの充実の52.3%でした。

図14 地域リハビリテーションの充実に必要なこと



単位：施設数、%

区分	病院	診療所	療養型	老健施設	老福施設	通所リハ	通所介護	訪問看護	訪問リハ	在介支援	市町村	合計
患者情報システムの整備	17	8	6	11	16	10	22	41	12	22	18	183
施設情報や住宅サービスに関する情報ネットワーク整備	27	9	12	17	23	16	48	53	16	33	22	276
市町村におけるリハ専門職の雇用	21	11	13	10	15	11	36	48	16	26	24	231
住宅改修等住環境整備等のサービスの充実	19	8	8	15	10	14	24	26	6	26	18	174
市町村の保健福祉事業の充実	23	11	15	14	9	15	38	40	10	44	33	252
地域リハビリテーションの教育・啓発	26	10	14	17	20	17	43	51	19	49	21	287
リハビリテーション従事者の資質の向上	15	11	10	11	11	12	30	37	19	21	27	204
介護保険におけるリハサービスの充実	31	14	14	15	19	16	35	59	18	29	25	275
その他	4	0	1	3	2	1	0	8	1	2	2	24
無回答	3	2	3	0	0	2	1	6	0	0	0	17
回答施設数	48	27	23	29	37	26	79	118	30	68	41	526

* 重複回答有り

(14) 地域におけるリハビリテーションの現状、今後のあり方等意見（自由記載）

区分	課題の整理	件数
医療機関	地域リハビリテーションの考え方について啓発普及が必要	3
	リハの社会資源の情報提供	2
	容易に相談できる窓口設置と人材育成	1
	在宅へのPT、OT等の派遣システム	2
介護保健 福祉施設	施設退所後の受け皿となる通所リハや訪問リハの充実	2
	生活全般の助言をするPT、OTへの相談・派遣システム	2
	介護予防などの予防的リハ事業の充実	2
通所介護・川	通所、外来リハ終了後、市町村が実施する受け皿事業の充実	3
	PT、OTの派遣によるリハ計画や支援方法などの指導が受けられるシステム	5
	関係機関と地域リハについて考えるなどネットワークや連携づくり	2
訪問看護・川	病院リハと在宅リハの違いについて、全体が理解を深めるなど啓発普及	1
	病院リハ終了後の地域の受け皿の充実	2
	訪問リハビリテーションの充実	7
	リハの社会資源や実施施設の内容など情報提供・ネットワークづくり	7
	PT、OT専門職のリハ計画や支援方法など相談・指導が受けられるシステム	9
在宅介護支 援センター	地域のコーディネート機関の充実と担当者の育成	1
	市町村が実施する介護予防事業の充実	3
	関係機関と地域リハについて考えるなどネットワークや連携づくり	4
	PT、OTなどの専門職の相談が受けられるシステム	2
市町村	関係機関と地域リハについて考えるなどネットワークや連携づくり	1
	奥能登でのPT、OTなどの専門職の充実	1
	PT、OTなどの専門職の相談が受けられるシステム	2

(1 5) 市町村保健事業等実施状況 (平成 1 3 年度実績より)

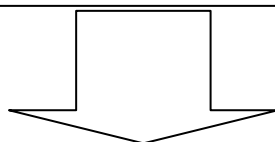
医療終了後又は施設退所後、習得した生活動作を維持するため、市町村が実施する寝たきり予防、介護予防事業の実施状況は、最も多く取り組まれているのが訪問指導 100.0%、次いで生きがい活動支援事業の 82.9%、転倒骨折予防教室 68.3%でした。

区分	事業名	実施市町村数	実施率
老人保健事業	A型機能訓練事業	26	63.4%
	B型機能訓練事業	17	41.5%
	訪問指導	41	100.0%
介護予防・生活支援事業	転倒骨折予防教室	28	68.3%
	痴呆予防介護教室	12	29.3%
	IADL訓練事業	6	14.6%
	地域住民グループ支援事業	3	7.3%
	運動指導事業	2	4.9%
	生きがい活動支援事業	34	82.9%
	生活管理短期宿泊事業	8	19.5%

* 県内市町村数=41 市町村

地域リハビリテーション課題

- 1 地域リハビリテーションに関するコーディネート機関での相談窓口の設置、人材育成などの充実が必要です。
- 2 地域リハビリテーションに関する計画や支援方法について、PT、OT などのリハビリテーション専門職による相談・支援が受けられるシステムが必要です。
- 3 地域リハビリテーションについて一貫した支援が得られるためのネットワークづくりや連携が必要です。
- 4 地域リハビリテーションに関する社会資源情報の提供が必要です。
- 5 関係機関の地域リハビリテーションに関する共通理解と考え方の啓発普及が必要です。
- 6 在宅での訪問リハビリテーション等介護保険サービスの充実と市町村が実施する介護予防事業や機能訓練事業などの地域リハビリテーションの充実が必要です。



地域リハビリテーション連携指針の策定

< 参考資料 >

1 市町村保健事業実施状況（平成13年度）

区分	老人保健事業									
	A型機能訓練				B型機能訓練				訪問指導	
	実施の有無	実施施設数	開催頻度	従事者	実施の有無	実施施設数	実施頻度	従事者	実施の有無	
総計	26	31	-	-	17	31	-	-	41	
南加賀	計	7	9	-	-	1	1	-	-	7
	小松市		1	週3回	OT,PHN					
	加賀市		3	週2回,週1回	PT,OT,PHN					
	山中町		1	週2回	PT,PHN		1	週1回	PHN等	
	根上町		1	週3回	OT,PHN					
	寺井町		1	週3回	OT,PHN					
	辰口町		1	週2回	OT,PHN					
	川北町		1	週1回	Dr,PT,OT,PHN					
石川中央	計	12	12	-	-	4	8	-	-	14
	松任市		2	週3回,週1回	OT,PHN		1	週1回	OT,PHN	
	美川町		1	週2回	OT,PHN					
	鶴来町		*生活支援事業として実施		OT,PHN					
	野々市町		1	週2回	OT,PHN					
	河内村		1	月2~3回	PT,OT,PHN		2	週1回	OT,PHN	
	吉野谷村						4	週1回	OT,PHN	
	鳥越村		1	週1回	PT,OT,PHN					
	尾口村						1	週2回	OT,PHN	
	白峰村		1	週1回	PT,PHN					
	津幡町		1	週3回	OT,PHN					
	高松町		1	週1回	PT,PHN					
	七塚町		1	週1回	OT,PHN					
	宇ノ気町		1	週2回	PT,OT,PHN					
	内灘町		1	週2回	PT,PHN					
能登中部	計	2	2	-	-	9	18	-	-	12
	七尾市		1	週2回	Dr,PT,OT,PHN					
	羽咋市									
	田鶴浜町						1	月1~2回	PHN	
	鳥屋町						1	月1~2回	PHN	
	中島町						1	月2~3回	OT,PHN	
	鹿島町						3	月2~4回	OT,PHN	
	能登島町						3	月1回	PHN	
	鹿西町						1	月2回	PHN	
	富来町									
	志雄町		1	週1回	PT,PHN		4	月1回	PHN	
	志賀町						2	週1回	PHN	
	押水町						2	週1回	PHN	
能登北部	計	4	4	-	-	3	4	-	-	7
	輪島市									
	珠洲市		1	週2回	OT,PHN		1	月1回	PHN	
	穴水町						1	月2回	OT,PHN	
	門前町		1	週1回	PT,PHN					
	能都町						2	週1回	PHN	
	柳田村		1	週1回	PT,PHN					
	内浦町		1	週2回	PT,PHN					
金沢市		3	1	週2回,週1回	Dr,PT,OT,PHN					

Dr:医師、PT:理学療法士、OT:作業療法士、PHN:保健師

